

奥の細道紀行  
330  
OKU NO HOSONOCHI

小松市立博物館 特別展

# おくのほそ道 330 年 芭蕉とこまつ

2019 年

9月21日(土) ~ 11月24日(日)

【休館日】月曜日・祝日の翌日  
(月曜日祝日の場合はその翌日)

【開館時間】9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

【入館料】一般300円 / 高校生以下は無料  
小松ミュージアムパス利用可  
障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名は無料



月日ハ百代のるこ家よりしてり  
よふも又旅人也舟のどよみせ涯  
そうくふるの白さうして老をむし  
うらあひりて旅を酒をす

『おくのほそ道』版本(元禄版・冒頭)  
(個人蔵)

主催 / 小松市立博物館

〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町19  
電話 (0761) 22-0714 FAX (0761) 21-7683  
<http://www.kcm.gr.jp/hakubutsukan>

「芭蕉木像」(建聖寺 蔵)

小松市立博物館 特別展

奥の細道紀行  
330th  
OKU NO HOSOMICHI

# おくのほそ道 330 年 芭蕉とこまつ



松尾芭蕉 画像  
『俳諧百一集』(当館蔵)より

## 『おくのほそ道』の旅から 330 年 小松に残した芭蕉の足跡をたどる

元禄 2 年 (1689) 旧暦 3 月 27 日、松尾芭蕉は門人の河合曾良とともに江戸を発ち、古歌にまつわる名所や由緒・来歴の地を訪ねながら東北・北陸をめぐる旅に出ました。旅の途中には小松にも立ち寄り、小松の門人たちとの句会が催されています。美濃大垣に至るまでの約 150 日にわたる旅のようすは『おくのほそ道』に記され、それは今も多くの人に知られる文学作品となっています。

当展覧会では『おくのほそ道』の旅のなかでも小松に残した芭蕉の足跡を中心に展示します。

2019 年

9月21日(土)～11月24日(日)

【休館日】月曜日・祝日の翌日  
月曜日祝日の場合はその翌日

【開館時間】9:00～17:00  
入館は16:30まで

【入館料】一般 300 円 / 高校生以下無料  
20 名以上の団体は 250 円  
小松ミュージアムパス利用可  
障がい者手帳をお持ちの方と介助者 1 名は無料



松尾芭蕉書状幅  
(石川県立歴史博物館 蔵)



立花北枝書状幅  
(石川県立歴史博物館 蔵)

主催 / 小松市立博物館

〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町 19

電話 (0761) 22-0714 FAX (0761) 21-7683

## この秋 小松で開催の『おくのほそ道』関連行事

### 奥の細道紀行 330 年記念イベント 奥の細道こまつ『彩』のまちを歩く!

とき 11月23日(土) 14:30～16:30

ところ 粟津演舞場 (小松市井口町へ 11)

定員 150 名 (要申込)

参加費 無料

#### ●奥の細道の旅の文学を楽しむ

朗読 松浦このみ 朗読と音楽で空間をつくる gusuto de piro 主宰

演奏 八木美知依 箏演奏家

#### ●奥の細道の旅の楽しみ方を学ぶ

講師 関屋淳子 旅恋代表・トラベルライター

【申込み】小松市にぎわい交流部 観光文化課 (0761) 24-8130



朗読 松浦このみ



演奏 八木美知依



講師 関屋淳子

### 第 90 回市史講座 芭蕉の残したもの

講師 綿拔豊昭 筑波大学教授・小松市史専門委員

とき 10月6日(日) 14:00～15:30

ところ 小松市公会堂 4 階 大会議室

受講料 無料 (事前申込み不要)

芭蕉が小松の地に残した足跡を探ります

芭蕉が詠んだ明智光秀にまつわる句の話もあります

【問合せ】小松市史編纂事務局 (0761) 24-5315

### 探訪! 奥の細道ゆかりの地 小松

とき 11月24日(日) 9:00～12:00

集合 公立小松大学 東側

(小松市土居原町 こまつアズスクエア)

定員 30 名 (先着順)

参加費 600 円 (拝観料)

奥の細道ゆかりの地を巡るバスツアー

多太神社、小松天満宮、菟橋神社を巡ります

博物館特別展の見学もあります

【申込み】小松市にぎわい交流部 観光文化課 (0761) 24-8130